

# 再現される世界経済の中心・周辺 構造——中国と「一帯一路沿線国」 との貿易関係

丸川知雄（東京大学社会科学研究所）

2017年12月14日

アジ研一帯一路研第2分科会

**中心・周辺構造とは？**

# 中心・周辺構造とは？

- 国連でECLACやUNCTADを創立したRaul Prebischと国連経済局のエコノミストHans Singerは1950年にそれぞれの著作のなかで一次産品を輸出する国の発展が遅れる理由を指摘。“The Prebisch-Singer Thesis”と称されるようになる。
- プレビッシュは世界経済を、中心（工業国）と周辺（一次産品輸出国）の構造としてとらえた。

# Raul Prebisch, The Economic Development of Latin America and Its Principal Problems, 1950

- プレビッシュは伝統的な国際分業論を批判し、ラテンアメリカは「世界経済システムの周辺(periphery)」として一次産品輸出の役割を引き受けていると指摘。
- 右の表を示し、一次産品の工業製品に対する交易条件が長期的に悪化する傾向があると指摘。

- *Amount of finished products obtainable*
- *for a given quantity of primary commodities*
- 1876-80 100
- 1881-85 102.4
- 1886-90 96.3
- 1891-95 90.1
- 1896-1900 87.1
- 1901-05 84.6
- 1906-10 85.8
- 1911-13 85.8
- 1921-25 67.3
- 1926-30 73.3
- 1931-35 62.0
- 1936-38 64.1
- 1946-47 68.7

Hans Singer. The Distribution of Gains between Investing and Borrowing Countries. *American Economic Review*, Vol. 40, No. 2

- シンガーは途上国のなかでの（往々にして外国資本が保有する）輸出産業と国内産業の二重構造を指摘。
- 途上国は一次産品輸出に特化することにより、製造業の様々なメリット（教育水準・技術知識の向上、都市文明のダイナミズム、マーシャルの外部性など）を得る機会を失っている、と指摘。

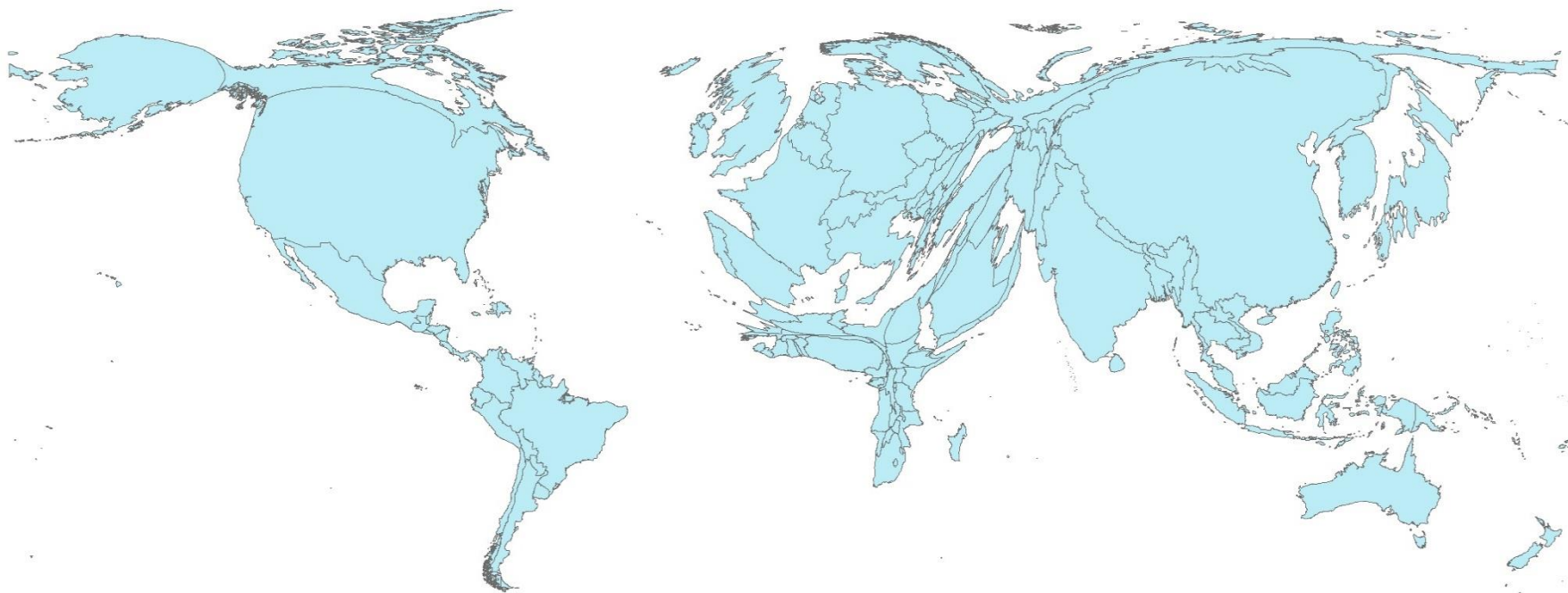
# The curse of natural resources

- 「プレビッシュ＝シンガーの命題」はラテンアメリカ等での輸入代替工業化につながる一方、よりラディカルな従属理論ももたらす。
- Sachs and Warner (2001)が「天然資源の呪い」説として復活させる。彼らによれば、交易条件の変化に関わりなく、一次産品輸出の多い国は長期的に見れば成長率が低いという。

**中国の「中心国」化**

# 世界GDP分布の長期的変化

2030年の世界GDP分布





# アメリカと肩を並べつつある中国

表1 中国とアメリカの経済規模の比較

	年	中国	アメリカ	アメリカを100 としたときの中国
GDP	2016	11.2兆ドル	18.6兆ドル	60
GDP(PPP)	2016	21.4兆ドル	18.6兆ドル	115
一人あたりGDP	2016	8123ドル	57467ドル	14
一人あたりGDP(PPP)	2016	15535ドル	57467ドル	27
貿易額	2016	3.69兆ドル	3.70兆ドル	100
輸出額	2016	2.10兆ドル	1.45兆ドル	144
輸入額	2016	1.59兆ドル	2.25兆ドル	71
対中貿易額 > 対米貿易額 101か国・地域				
対米貿易額 > 対中貿易額 43か国・地域				
対中輸出額 > 対米輸出額 82か国・地域				
対米輸出額 > 対中輸出額 120か国・地域				
対中輸入額 > 対米輸入額 116か国・地域				
対米輸入額 > 対中輸入額 30か国・地域				
対内直接投資	2016	1705.6億ドル	4794.15億ドル	36
対外直接投資	2016	2172.0億ドル	3115.82億ドル	43

(出所) UNCOMTRADE、UNCTAD

World Bank, World Development Indicators

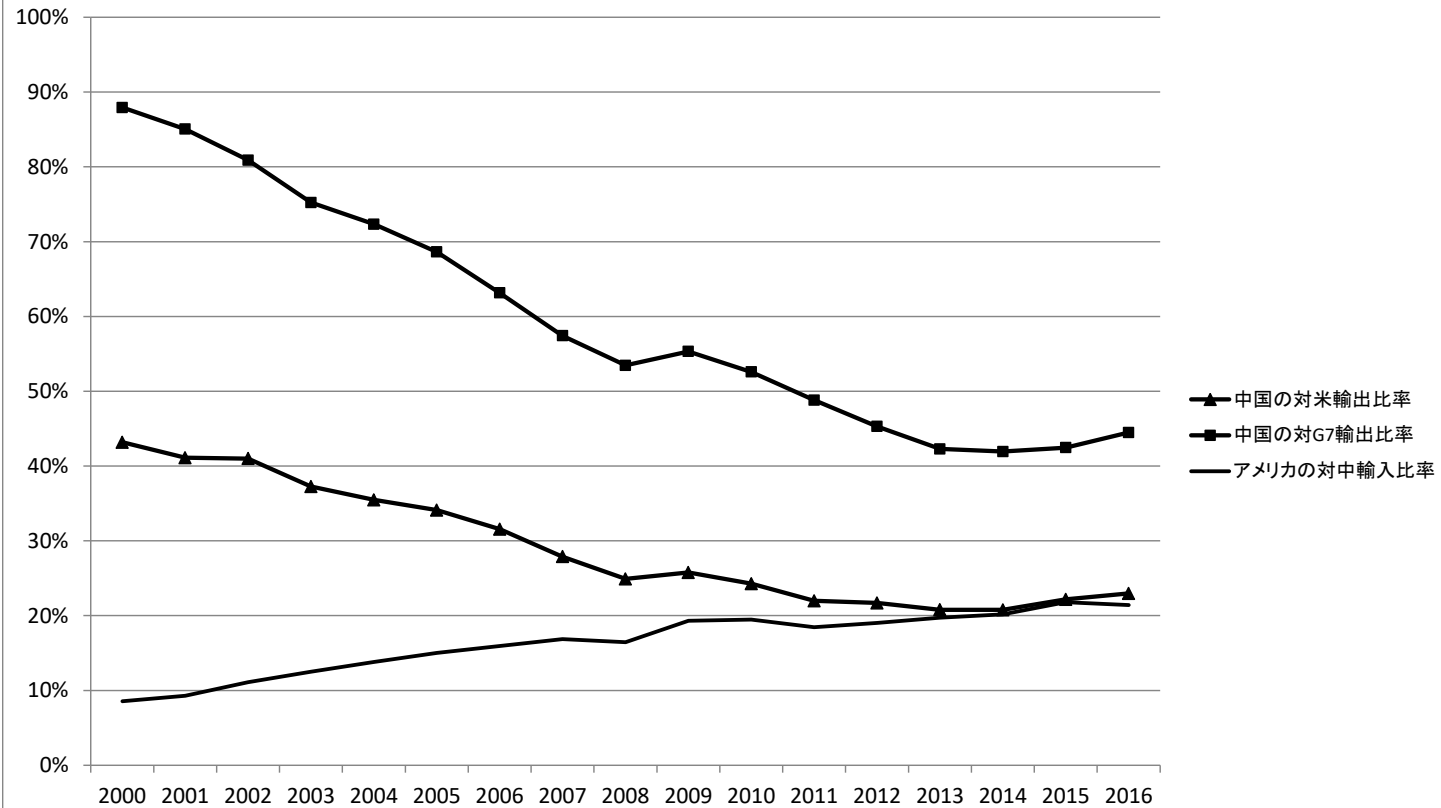
購買力平価(PPP)で測ったGDPにおいて中国は2013年にアメリカを抜き、それ以降次第に差を広げている。

# 中国の経済的台頭に対する解釈

- 再生ブレトンウッズ体制論 (Dooley, Folkerts-Landau, and Garber 2003) 東アジア (特に中国) はアメリカへの輸出拡大を通じて資本蓄積を進め、経常収支が黒字になれば中央銀行がドル (米国債) を買い支える。こうして資金が還流するため、アメリカは巨額の貿易赤字を続けることが可能になっている。
- 「チャイメリカ (Chimerica) 論 (Ferguson and Schularick 2011)
- 「三角貿易」論 (大森2014など) 日本から機械や技術集約的部品が中国へ輸出され、中国で最終製品に組み立てられてアメリカに輸出される。
- これらはいずれもout of dateになりつつある。

# 中国の輸出先はアメリカ(G7)以外へ 向かっている

図1 中国の対米・G7輸出比率、アメリカの対中輸入比率



(出所) Uncomtradeのデータを利用して筆者計算

# 中国の貿易相手の変化

- 輸出では先進国向けの比重が下がり、アフリカ、アジア、中南米等が増加
- 輸入では日本・アジアが急減、アフリカ、中南米、中東、欧米が増加

	輸出		輸入	
	2006年	2015年	2006年	2015年
アフリカ	2.7%	4.8%	3.6%	4.2%
アジア(日本除く)	33.8%	38.6%	37.2%	33.3%
中南米・カリブ	3.7%	5.8%	4.3%	6.2%
東ヨーロッパ	4.2%	3.6%	2.7%	3.1%
日本	9.5%	6.0%	14.6%	8.5%
中東	3.9%	5.7%	5.3%	6.2%
北米	22.6%	19.3%	8.5%	10.5%
オセアニア	1.7%	2.2%	2.7%	5.0%
西ヨーロッパ	18.0%	14.1%	11.8%	14.3%
(出所) Uncomtradeより筆者作成				

# 貿易黒字を稼いで米国債をため込む 構造も2013年あたりで終わった

表3 中国の国際収支 (単位: 億ドル)

	2000	2002	2004	2006	2008	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
経常収支	205	354	689	2,318	4,206	2,378	1,361	2,154	1,482	2,360	3,042	1,964
貿易収支	345	442	590	2,177	3,606	2,542	2,435	3,216	3,599	4,350	5,762	4,941
サービス収支	-11	-3	-2	21	44	-151	-468	-797	-1,236	-2,137	-2,183	-2,442
金融収支	-86	-432	-818	-2,395	-4,425	-1,895	-1,278	-1,326	-883	-1,691	-915	267
準備以外の金融収支	20	323	1,082	453	371	2,822	2,600	-360	3,430	-514	-4,345	-4,170
対外直接投資	-9	-25	-20	-239	-567	-580	-484	-650	-730	-1,231	-1,744	-2,172
対内直接投資	384	493	621	1,241	1,715	2,437	2,801	2,412	2,909	2,681	2,425	1,706
証券投資収支	-40	-103	197	-684	349	240	196	478	529	824	-665	-622
その他投資収支	-315	-41	283	136	-1,126	724	87	-2,601	722	-2,788	-4,340	-3,035
外貨準備	-105	-755	-1,901	-2,848	-4,795	-4,717	-3,878	-966	-4,314	-1,178	3,429	4,437
外貨準備残高(年末)	1,656	2,864	6,099	10,663	19,460	28,473	31,811	33,116	38,213	38,430	33,304	30,105

(出所) 国家外貨管理局

- サービス収支、対外FDI、その他投資などによる外貨流出が増加

# 国際収支のサイクル

- 途上国段階 貿易収支赤字・資本収支黒字  
1980年代～90年代前半
- 新興工業国段階 貿易収支黒字・資本収支黒字  
1990年代後半～2013年
- 先進国段階 貿易収支黒字・資本収支赤字  
2014年～ 「一帯一路」構想はこの段階を国策的に推し進めるもの、と解釈できる。日本では「黒字還流」

**中国の影響を大きく受ける途上国**

# 中国の経済変動が与えるインパクト

- 中国は国際的に取引されている鉄鉱石の3分の2を輸入しているため、中国鉄鋼業の変動が鉄鉱石の国際価格や輸出国に大きな影響を与えている。
- 鉄鉱石価格は2005年4月から2011年4月まで6倍に上昇、その後2015年末まで8割下落。
- シエラレオネ、モーリタニア、ブラジル、南アフリカなど鉄鉱石輸出国は大きく振り回された。



# 中国への輸出依存度が高い国々

表1 対中国輸出比率が高い国々とその最大輸出品目

	対中国輸出比率			2006-2014 年平均	最大輸出品目 (2014年)	最大品目が対中 輸出全体に占め る比率	他の主要輸出 品目
	2006年	2010年	2014年				
ソロモン諸島	103%	128%	105%	101%	木材	100%	
モンゴル	74%	88%	88%	78%	銅鉱石	52%	
バハマ	24%	89%	87%	54%	古紙	85%	
モーリタニア	29%	47%	60%	52%	鉄鉱石	80%	
スーダン	34%	59%	35%	51%	原油	89%	
台湾	39%	42%	48%	43%	集積回路	19%	液晶パネル
ガンビア	4%	22%	35%	40%	木材	88%	
アンゴラ	34%	45%	50%	40%	原油	99%	
マーシャル諸島	1%	16%	67%	38%	冷凍魚	100%	
コンゴ民主共和国	14%	47%	41%	37%	原油	28%	銅、コバルト
フィリピン	37%	31%	34%	36%	集積回路	29%	ニッケル鉱石
イエメン	34%	34%	37%	34%	原油	66%	
コスタリカ	21%	33%	37%	33%	集積回路	89%	

## (続き)

	対中国輸出比率			2006-2014 年平均	最大輸出品目 (2014年)	最大品目が対中 輸出全体に占め る比率	他の主要輸出 品目
	2006年	2010年	2014年				
ラオス	6%	34%	67%	31%	木材	44%	銅鉱石
オマーン	28%	27%	45%	31%	原油	95%	
韓国	28%	30%	33%	30%	集積回路	26%	
オーストラリア	16%	29%	40%	28%	鉄鉱石	56%	
ミャンマー	6%	11%	141%	27%	貴石及び半貴石	76%	
南アフリカ	7%	16%	49%	26%	その他	60%	鉄鉱石
シエラレオネ	0%	3%	89%	26%	鉄鉱石	98%	
トルクメニスタン	0%	16%	54%	24%	天然ガス	99%	
ザンビア	7%	36%	32%	23%	粗銅	51%	精製銅
チリ	10%	25%	28%	22%	精製銅	42%	
マレーシア	15%	25%	24%	22%	集積回路	45%	
日本	18%	23%	24%	22%	集積回路	8%	乗用車
イラン	13%	18%	31%	21%	原油	76%	

# 中国向けの輸出額の変動は輸出国 のGDP成長率に影響を与えている

Table 2 Panel Data Analyses of GDP Growth Rates and Export Growth to China

Dependent variable: GDP growth rate

	(1)	(2)	(3)	(4)
Investment/GDP	0.094 ** (2.00)	0.064 ** (1.96)	0.28 *** (4.40)	0.16 ** (3.61)
Inflation rate	-0.099 *** (-2.91)	-0.071 ** (-2.49)	-0.15 *** (-2.68)	-0.089 * (-1.83)
GrowthExChina	0.0020 * (1.87)	0.0020 ** (1.97)	0.0051 *** (2.85)	0.0055 *** (3.13)
Constant	2.446 ** (1.99)	2.985 *** (3.20)	-1.910 (-1.18)	0.465 (0.36)
Model	Fixed effect		Random effect	
Obs	430		207	
Countries and regions	48		23	
R squared	0.27		0.27	
F-test: $\gamma_i=0$	2.75 ***		3.51 ***	
LM-test: $\text{Var}(\gamma)=0$			39.62 ***	21.7 ***
Hausman test	3.71		10.64**	

t-statistics are presented in brackets

\*\*\* Statistical significance at the 1% level.

\*\* Statistical significance at the 5% level.

\* Statistical significance at the 10% level.

## 中国への輸出変動と各国のGDP変動

- 対中輸出比率が9%を超える54か国・地域を分析したところ、対中輸出が1%増えると、その国のGDPは0.002ポイント上昇。
- 対中輸出比率が20%を超える27か国・地域に限定すると、対中輸出比率が1%を増えるとGDPは0.0051ポイント上昇。
- 2010, 2011, 2012年にこれら27か国・地域から中国への輸出は58%, 47%, 78%増えたので、それらのGDPは0.30, 0.24, 0.40ポイント上昇。2015年には対中輸出が17%減少したので、GDPは0.09ポイント下落。

# 中国のせいで一次産品輸出国に押し戻された国々

- 右の各国では中国への輸出における一次産品比率は対世界よりも高い。
- 対世界での一次産品比率が上昇する傾向がみられるのはフィリピン、マレーシア、インドネシア、ブラジル、南アフリカ、オーストラリア

表2-3 各国の輸出における一次産品のシェア

	一次産品 輸出シェア	2000年	2005年	2011年	2016年
フィリピン	対世界	7%	10%	17%	14%
	対中国	25%	6%	16%	21%
マレーシア	対世界	18%	23%	35%	28%
	対中国	32%	27%	32%	28%
インドネシア	対世界	41%	50%	62%	50%
	対中国	62%	70%	82%	70%
タイ	対世界	21%	21%	27%	21%
	対中国	40%	31%	36%	34%
ブラジル	対世界	37%	43%	63%	58%
	対中国	78%	78%	93%	91%
南アフリカ	対世界	28%	28%	37%	36%
	対中国	48%	50%	84%	71%
オーストラリア	対世界	58%	62%	74%	74%
	対中国	80%	84%	92%	92%
(出所) Uncomtradeのデータから計算					

# 中国製品が南アフリカ製造業を圧迫する3つのルート

- 第1に、南アフリカ国内の市場で競合。
- 第2に、中国製品が南アフリカ製造業の輸出市場であった南部アフリカに流入。
- 第3に、南アフリカから鉄鉱石などの資源が中国に大量に輸出されることで南アフリカの通貨の為替レートが上昇するとともに国内の製造業のコストも上昇し、製造業品の輸出が困難になる。
- ブラジルでも製造業品の輸出比率は39%（1980年）から59%（1995年）に上がっていたものが、中国のWTO加入後に44%（2014年）に下がった。

# 中国からの輸入増加(前年)は各国の製造業の成長に負の影響を与える

Table 4 Regression Analyses of Manufacturing Growth and the Growth of Imports from China

Dependent variable: Real growth rate of added value of manufacturing industries

	(1)		(2)		(3)		(4)	
GDP growth rate	1.05 ***	(17.94)	1.12 ***	(14.9)	1.40 ***	(12.73)	1.57 ***	(10.85)
Growth of imports from China (-1)	-0.0082 ***	(-2.65)	-0.0083 **	(2.27)	-0.028 **	(-2.55)	-0.031 ***	(-2.59)
Constant	-0.99 ***	(-3.26)	-1.18 ***	(-3.49)	-2.02 ***	(-3.14)	-2.65 ***	(-3.35)
Model	Pooled regression		Fixed effect		Pooled regression		Fixed effect	
Obs	955		955		350		350	
Countries and regions	153		153		53		53	
R squared	0.26		0.26		0.33		0.33	
F-test: $\gamma_i=0$			1.03				0.87	

t-statistics are presented in brackets

\*\*\* Statistical significance at the 1% level.

\*\* Statistical significance at the 5% level.

\* Statistical significance at the 10% level.

# 「一帯一路沿線国」と中国の貿易関係



# 近隣アジア との貿易で は中国は圧 倒的な存在 感がある

Shares of Trade with China at Belt and Road Countries (2015)

	Import Share	Import Rank	Export Share (by home stats)	Export Rank (by home stats)	Export Share (by China stats)	Export Rank (by China stats)
Non-BR Countries						
Japan	26%	1	17%	2	23%	1
South Korea	21%	1	26%	1	33%	1
North Korea*	84%	1			82%	1
ASEAN						
Thailand	20%	1	11%	2	18%	1
Singapore	14%	1	14%	1	8%	5
Philippines	16%	1	11%	3	32%	1
Myanmar	38%	1	40%	1	45%	1
Malaysia	19%	1	13%	2	27%	1
Laos	19%	2	35%	1	52%	1
Vietnam	30%	1	10%	2	18%	2
Cambodia	37%	1	5%	6	8%	4
Brunei	10%	3	2%	11	2%	11
Indonesia	21%	1	10%	3	13%	1
North and Central Asia						
Mongolia	36%	1	83%	1	81%	1
Kazakhstan	17%	2	12%	2	13%	2
Kyrgystan	25%	2	2%	7	4%	7
Russia	19%	1	8%	3	10%	3
Uzbekstan*	21%	1			20%	2
Turmenistan*	3%	3			78%	1
Tajikistan*	50%	1			6%	6

	Import Share	Import Rank	Export Share (by home stats)	Export Rank (by home stats)	Export Share (by China stats)	Export Rank (by China stats)
<b>South Asia</b>						
India	16%	1	4%	4	5%	3
Sri Lanka	20%	2	3%	6	2%	9
Bangladesh	22%	1	2%	11	3%	11
Pakistan	25%	1	9%	2	11%	2
Nepal	14%	2	2%	6	5%	3
Maldives	8%	4	0%	29	0%	23
Bhutan*	2%	6			0%	11
<b>Middle East</b>						
Afghanistan	14%	3	2%	9	2%	8
Saudi Arabia	15%	1	3%	6	15%	2
Qatar	12%	1	7%	4	6%	6
Turkey	12%	1	2%	19	2%	15
Jordan	13%	1	3%	8	4%	8
Israel	9%	3	5%	5	4%	5
Yemen	11%	2	1%	13	100%	1
Oman	5%	4	44%	1	47%	1
UAE	8%	2	1%	15	3%	3
Bahrain	10%	2	2%	12	1%	24
Kuwait	16%	1	1%	4	14%	2
Egypt	13%	1	2%	19	4%	7
Iran*	42%	1			40%	1
Iraq**	28%	1			25%	1
Syria*	22%	1			1%	25
Lebanon**	12%	1	0%	44	1%	27

- 南アジア、中東では輸入（中国からみれば輸出）では圧倒的な存在だが、輸出ではそうでもない。

- 南東欧では輸入でも中国の存在感は圧倒的ではないし、輸出での関係はかなり希薄である。
- 但し、EU28か国の域外貿易での存在感は大きい。

	Import Share	Import Rank	Export Share (by home stats)	Export Rank (by home stats)	Export Share (by China stats)	Export Rank (by China stats)
South Europe						
Greece	6%	5	1%	24	1%	22
Cyprus	5%	6	2%	10	3%	9
East and Central Europe						
Ukraine	10%	3	6%	3	9%	2
Belarus	8%	2	3%	8	4%	6
Georgia	8%	2	6%	6	2%	15
Azerbaijan	6%	8	0%	20	2%	13
Poland	12%	2	1%	21	1%	19
Lithuania	3%	13	0%	26	1%	25
Estonia	8%	4	1%	15	2%	14
Latvia	3%	8	1%	21	1%	20
Czechia	14%	2	1%	18	2%	14
Slovakia	9%	3	2%	16	3%	9
Hungary	5%	5	2%	15	3%	13
Slovenia	6%	4	1%	25	1%	23
Croatia	3%	8	1%	27	1%	23
Bosnia	7%	5	0%	31	1%	20
Montenegro	10%	2	2%	10	7%	5
Serbia	8%	4	0%	44	1%	24
Albania	9%	2	3%	8	7%	3
Romania	5%	6	1%	21	2%	13
Bulgaria	4%	9	2%	10	3%	8
Moldova	9%	4	0%	29	1%	20
Macedonia	6%	5	3%	7	3%	8
EU28	20%	1	9%	2		

\* Measured by trade partners' statistics. \*\* 2014 data.

(Source) UN Comtrade

